

光と形が交錯するが生み出す包摂的映像体験の提案

Proposal for an inclusive visual experience created by the intersection of light and form

松本 悠汰
指導教員 菊池 司

東京工科大学 メディア学部 メディア学科 菊池研究室

360度カメラで撮影をした映像をステレオ投影という編集手法で制作する。ライティングがされている特徴的な形を持つ物を撮影することで、幻想的な奥行を感じる包摂的な映像作品を目指す。

キーワード：360度動画, パノラマ, リトルプラネット

1. はじめに

近年 360度映像は、VR ゴーグルやスマートフォンなど様々な機器で視聴することができるので、自治体のPR動画や不動産の物件紹介などで多く用いられており需要が高まっている。

本研究では自身で操作して見たい風景をみる一般的な360度映像とは異なり、ステレオ投影の映像を用いる。投影した映像がまるで小さな惑星のように見えることから一般的にリトルプラネットと呼ばれている。リトルプラネットの特徴は、周囲の建物や明度を強調することができるので本研究では、ライティングされている場所を主に撮影している。

2. 制作方法

撮影場所は氷川神社、あしかがフラワーパーク、八景島シーパラダイス、撮影機材はInsta360 X4で行った。編集はInsta360 Studioを使用した。[1]



図1 Insta360 X4

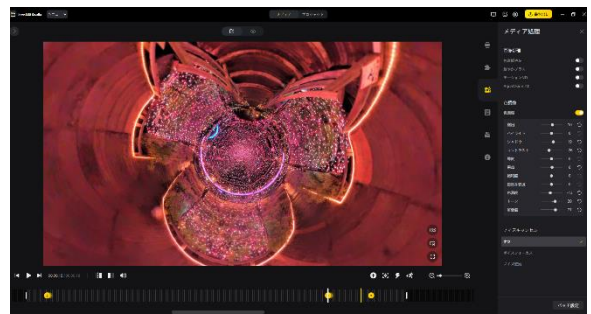


図2 Insta360 X4 の編集画面

3. 編集結果

(1) 氷川神社

夏限定で約 1500 の江戸風鈴が掛けられている。リトルプラネットにすると色鮮やかな風鈴だけでなく、木の支えが曲線状になっており、この手法ならではの映像表現ができた。[2]

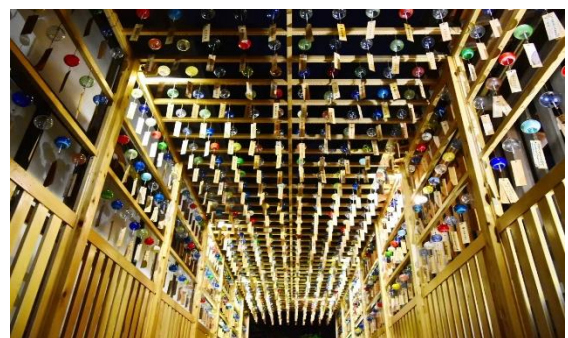


図3 氷川神社の江戸風鈴



図4 江戸風鈴のリトルプラネット

(2)八景島シーパラダイス

水深 8m, 水量 1500t の水槽の中にエスカレーターがあり, 水槽の中に入り, 20 種類以上の魚と一緒に泳いでいる気分になれるのが特徴. 複数の魚群の異なる動きによって, 「不規則な美しさ」を表現できた. [3]



図5 八景島シーパラダイスの大水槽



図6 大水槽のリトルプラネット

(3)あしかがフラワーパーク

日本三大イルミネーションであるあしかがフラワーパーク「光の花の庭」は, 7年連続でイルミネーションランキング一位を獲得するイルミネーションだ. 大藤やツリーを撮影し, 音楽に合わせてウェーブ状に点灯, 消灯をしていることで生み出している躍動感をリトルプラネットにすることでより躍動感, 奥行きのある映像に表現できた.



図7 大藤棚



図6 大藤棚のリトルプラネット

4. 展望

現段階では, 撮影場所, 編集面において不足する部分がある. より没入感, 躍動感を増幅させるには, 色調整, 速度に変化をつける必要がある. 包摂的映像体験には, 映像と音楽の整合性が重要になるので, 音楽も変更していく.

11月から日本各地でイルミネーションが開催されるので撮影し, イルミネーションへの理解を深め, 作品に生かしていきたい.

5. 参考文献

- [1] ARCHISITE. “Insta360X4”.
<https://archisite.co.jp/products/insta360/x4>, (参照 2024-07-15)
- [2]川越氷川神社. “風鈴回廊”.
<https://enmusubi-fuurin.studio.site/posts/3Eh7qr04>, (参照 2024-08-11)
- [3] 坂本祐里子. “小型魚から大型魚まで！個性豊かな「大水槽」の仲間たち”. 地方活性 Regional Revitalization on ASCII.
<https://ascii.jp/elem/000/004/154/4154221/>, (参照 2024-09-12)